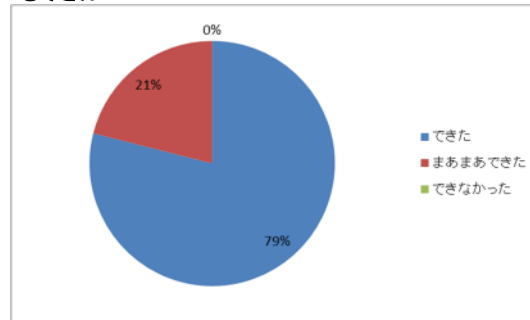
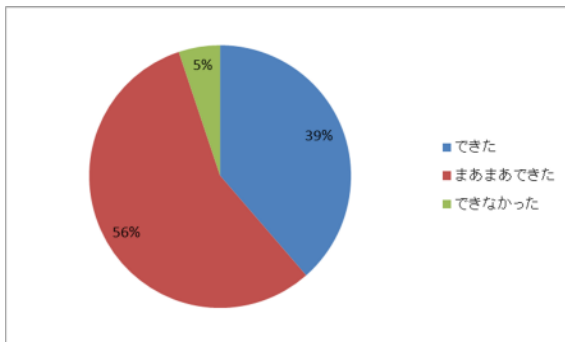


H25 高校生と乳幼児のふれあい体験 （実施日：H25.6.11～6.19）

1, 積極的にふれあうことができましたか？



2, 子育てをしていく中での子供を育てる楽しさ、喜び、苦勞、難しさがあることを知ることができましたか？



できなかった（254名中13名）

その理由

- ・関わりづらかった。
- ・こわかった。
- ・どうすればよいかわからなかった。
- ・相手が恐れるかもしれない。
- ・人の嫌がることはしたくない。
- ・人見知りした。
- ・緊張した。
- ・だっこがこわかった。

【ふれあい体験を終えて、感じたこと（感想・意見）】

- ・子育ては簡単じゃないことは知っているが、知識や体力、精神面でも大変さが伝わった。夫が手伝っている家庭は、どんなに楽なのかがわかった。強い責任が必要だと思った。赤ちゃんは繊細で、すごく弱々しいから、自分より大切なものだと思って育てていかないとダメ。今回のお母さんにたちは、まさに親という感じで、頼れる方でしっかりしていて、カッコイイと思った。
- ・どの親も子育ては大変だというが、子どもが居てすごく楽しそうにみえた。すごく前向きで、しっかりしているお母さん方の姿を見て、改めて親の強さを感じた。まだまだ自分は未熟で、子育てをする力がないと思った。
- ・子供を育てることは大変だと、今日、改めて感じた。もし、自分が父親になったら、全部を嫁にまかせるのではなく、できること、やれることをやってあげたいと思った。人の子どもがこんなに可愛いのだから、自分の子どもはもっと可愛いと思う。
- ・お母さんの話を聞いて、子育てはとても大変で、若いうちに産まないで大変だよという話をしていただいたので、そういう意見も参考にしてこれからの将来を考えていきたいと思った。
- ・子供をあやす為におもちゃなどを持っていたり、おやつや飲み物など沢山荷物があつたり大変そうだった。どんなにあやしても、お母さんには勝てない。
- ・とても楽しめた。足をくすぐっても反応しなかった。本当になんでも口に入れてしまう。
- ・自分の親が今までどれだけ苦勞してきたか、今になってわかった。もし、自分に子どもができて、今のままだと、何もできずに、迷惑ばかりをかけてしまうと思ったので、まじめに家庭を勉強したいなと思った。保育スタッフさんの手つきに驚いた。素人とぜんぜん違うことを実感した。
- ・親は赤ちゃんの面倒を四六時中みなくてはならないので、本当に大変だと実感した。自分をここまで育ててくれた親に感謝しなければいけないと思った。
- ・肌がすごくやわらかくて、ほんとうに丁寧にあつかわないと傷ついてしまう。なんでも食べ

ようとして可愛かった。

- いろいろな物を見せていただきながら、赤ちゃんから学べることがたくさんあると聞いて、自分もこんな風だったのかなぁと思った。私も今度お母さんに赤ちゃんの頃の話聞いてみたくなった。
- 子供が1人できると、それに関わる人がたくさんいて、知らない土地でも仲間ができて、みんなが支えてくれるということを聞いて、子育て（将来）への不安が少し楽しみにかわった。子供が1人できた、それだけで何でもない人生が大きくかわり、かけがえのないものになる。それを聞いて私は子どもが1人のお母さんの人生を変えられるのだと感動した。
- 母親がやってくれていることが、どんなに素晴らしいことなのか分かった。将来、自分に赤ちゃんが生まれた時は、母親にばかり子育てをさせるのではなく、自分も積極的にやっていきたいと思った。みんな楽しそうでよかった。
- 夫の帰りが遅くて、いつも二人きりで、たまに来てくれる自分のお母さんに本当に助かっている。と聞いて、「ああ 本当になやんでいるんだな」と強く思った。3人の子どもを持つお母さんもいて、なんか3人産んだ人はすごいなっていうくらい、かんろくがあつておもしろかった！！私はまだ子どもなんて考えてもなかったけど、この体験をして、子供に興味が出た！
- 一人の命を育てるということが、どれだけ大変で難しいことなのか分かった。また、同時に子育ての幸福感や充実感を感じた。気分がコロコロ変わってしまうので、泣いてしまった時はとても不安になったけど、あやして笑ってくれた時は思わずこちらも笑顔になってしまうくらいかわいかった。自分の父母もこういう風に私を育ててくれたのかと思うと感慨深い。
- 前まで子どもが怖くて挙動不審だったが、最後の方に甘えて(?)きてくれて、すごく可愛かった。自分の親もあんな感じに扱ってくれていたのなら、それはとても嬉しいことだと思った。
- やはり、子育てって楽しい嬉しい分、つらくて大変なこともたくさんあるんだと実感した。産むとき、すごく痛くて大変だけど意外とあっという間で、子育てしているとそんなつらかったことも忘れてしまう。だから「出産は痛いから産みたくない！」と思っている自分が子供だと思え、バカらしくなった。
- 赤ちゃんはなんでも口にいれたがったりしていた。妊娠中は病気をしても薬も飲めないし、痛みとの戦いだなぁと思った。赤ちゃんがいるお母さんはとても楽しそうだった。保育スタッフさんは赤ちゃんのお世話だけではなく、お母さんのケアなどをするのが大切なのだったと思った。
- 大きくて、重くておとしそうでこわかった。すごくやわらかくて、いいにおいがした。とてもかわいかった。お母さんたちはすごいなと思った。
- やはり 子育てはねむれないし、相手にしてあげないといけないし、結構難しいと思った。
- 子供がかわいいだけでじゃ育てられない。それに、泣いて、あやして、泣きやんで、寝かせようとすると、また寝ずにまた泣きはじめてしまったから、とても大変そうだった。身近に小さい子どもがいないので、とても、いい経験になった。まだまだ先の出産というのが、身近に感じられた。楽しかったし、たくさんのが学べた気がする。
- 子育ては大変そうだったが、子どもがいると幸せそうだと思った。自分の親の子育ての大変さもわかった気がする。
- 自分の親はずいぶん適当だなぁと思った。だから、自分は、子どもが産まれたら、ちゃんと育てようと思った。
- たいへんなこと、嬉しいこと…皆さん同じようじゃこうちがう。自分はどうなるだろう、想像ができない!!…しかし、こうしたい、こうできたらいいなと思うことがたくさんあった。なんでも「ワンワン」と言っている子がいた。とにかくかわいい。
- いままで子供と遊ぶのは好きだったが、今日はふだん関わる機会がない乳幼児とふれあえてよかった。もっともっと子供が好きになれた。しかし、やはり最初はなんでないのかわからなかったし、言う事をきかないし、子育てはラクじゃないということがわかった。

それでも、もっと良いことがあるから、いつか子どもがほしくなった。

・今日来てくれた子どもがねむかったので、一瞬ぐずったりした時があって、その時にお母さんがあやしているのを見て、自分も赤ちゃんの時はこういうふうにお母さんにしてもらったんだなと思った。お母さん方は話をしながらも、自分の時間なども削って子供をしっかり見ていたので、自分に子育てができるか少し心配になりました。

・赤ちゃんはかわいいが、なんでも口に入れたりして、色々とどこかへ行ってしまうから、育てているお母さんはすごいと思った。

・お母さんの話を聞いていると、大変なことばかりだけどすごく楽しそうだった。

・お母さんの話を聞いていると、自分も子どものときはこんな感じで、迷惑をかけてばかりだったのだと知った。体験を通して、赤ちゃんを産む大変さ、育てるつらさを知ることができました。また、女性としてのつらさを知ることができ、男としてできることはやる！！積極的に手伝うという思いがうまれた。

・赤ちゃんって、めんどろみたりするのは大変で嫌になってしまうかと思っていたけど、そうでもなかった。苦労もあると思うが、新しい発見や出来事を体験できるということをあらためて分かった！！赤ちゃん産んでみたい！！一生で一度なら！！

・最初、食事制限など、そこまでないだろうと思っていたが、マックやケンタッキーなどが好きなお母さんにとっては、一口も食べられないと聞いて、ものすごく大変だと思った。

・すごく貴重な体験ができた。自分はほとんど赤ちゃんとは接する機会がなかなかないので、改めて出産の大変さ、子育ての大変さを学ぶことができた。自分も子供を育てることになった時のことを考えると、今日聞いたお母さんの話が参考になると思う。母子手帳・日記・産声・メッセージなど良いものをみることで良かった！

・子育ては大変だけど、子どもが笑うと嬉しくなっていていいと思う。陣痛の痛みより、子どもが産まれた瞬間の方が嬉しいというのがよく伝わった。

・見せてもらったなかで、育成ノートみたいなのがあって、ものすごくびっしり書いてあって、書くのが楽しいって言っているのを聞いて、自分もそういう親になりたいと思った。あとあと、子どもと一緒に見るのが楽しみになりそう。

・私の母は母子手帳や日記などはあまり書いてくれていなくて、私が小さい時はどんなだったかなって考えていた。もし、私がお母さんになったら、子どもの為に、日記とかを書いて残しておきたいと思った。

・可愛いと思ったが、実際、育てることになったら大変だろうなと思う。しかし成長を見ていくのが楽しそう。母親ばかりでなく父親の協力も必要だと思った。

・赤ちゃんがとても可愛かった。手を振るしぐさで片方じゃなくて両方の手が動いているのが可愛かった。

・今まで自分を育ててくれた親の偉大さがわかった。例えばおむつを替えることだったり、飲み物を飲ませたりすることである。

・「人見知りな子」「オープンな子」「やんちゃな子」など一人ひとりの個性が違うことを感じた。とても可愛かった。

・赤ちゃんはすごく小さくてかわいかった。思った以上に感情が豊かで泣いたり笑ったりを繰り返していた。

・笑った顔を見ていると、こっちまで笑ってしまうくらい癒されました。

・今まで赤ちゃんに関わる事が全くなかったので、今日、とっても不安だったが、実際にふれあってみて疲れたけど、とても楽しかった。

・睡眠がとれないという話を聞いて辛いなと思った。子育ては大変ということは予想通りだった。

・「生まれてきてくれて良かった。産んで良かった」と笑って話してくれてこっちも和んだ。

・将来、自分がどのような親になり、またどのような子育てをするのか想像がふくらんだ。

また保育スタッフの話を聞いて、私もこのような仕事をしてみたいと思った。

- ・子育ては楽しいけどそれなりに大変だ。
- ・とても可愛くて子どもがほしくなった。
- ・事故が起きないように気を配るのはとても大変だった。
- ・泣かれてどうすればいいかわからなくて、おどおどした。思っていた以上に子どもの扱いが難しく、結婚した時が大変そう。
- ・改めて保育士になりたいと思った。今日はたくさん学んだ。
- ・男の子と女の子の抱き心地の違いがわかった。エコー写真や映像をみせてもらったり、出産・育児のエピソードもたくさん聞いたりして、これからの将来につながると感じた。
- ・小さい子は、どんなに疲れている時でも、一瞬の笑顔で疲れがとぶような、そんな力を持っている。
- ・子育てはやはり大変。しかし、思っているほど苦にはならない。
- ・少しはつかれたけど、赤ちゃんとふれあえてとても楽しかった。
- ・親に感謝しようと思った。
- ・自分もこんなに小さかったのだと思った。
- ・このような機会があつて本当に良かった。
- ・思っていた以上に重くてぷにぷにされていて可愛かった。
- ・成長する喜びがもの凄く大きいのがわかった。自分も自然に笑っていた。
- ・陣痛のはすごく痛いと聞いてゾッとしたが、赤ちゃんをみて嬉しさで痛みなんか忘れると聞き　すごく感動した。
- ・どのお母さんも我が子を大切にされていてかっこよかった。
- ・子どもは「可愛い」という気持ちだけで育ててはいけないと改めて思った。
- ・ふれあう前は不安や関わり方にとまどいがあったが、実際ふれあうと不安が消え、明るい印象をもった。
- ・子どもの成長が親の喜びだということが印象に残った。
- ・子どもの話をしている時のお母さんの表情がすごく幸せそうだった。
- ・子育ては大変ではあるが、嬉しさ・楽しさが生きがいになっているのだなと思った。
- ・お母さんたちはみんな、子育ては大変なのに、がんばって育てていてすごかった。
- ・親もいろいろ大変な思いをしていることを知った。
- ・子育てはすごく大変だが、すごく楽しいことでだと思った。将来、子どもが欲しいと思った。
- ・今日来たお母さん達は、皆産んでよかったと思っているひとばかりで、赤ちゃんも幸せそうに感じた。
- ・自分にもあんな時があったんだなあ…と思うと、母親はすごく大変な思いをして自分を育ててくれたのだ、と改めて思った。自分もいい親になれるよう頑張りたい。
- ・子ども一人ひとりがそれぞれ違う、違いがある。
- ・子育てを頑張っているけど、親なのだから当たり前と思っていた。お母さんはこんなに大変な思いをして育てていてすごいと思った。
- ・親がとっても強い理由がわかった。
- ・少し緊張していたが、お母さんたちが場をなごませてくれたので、緊張が消えた。自分自身も親になるのかな、とか考えさせられた。本当にいい体験をした。

- ・自分が親になってから、親の大変さがよくわかると思う。
- ・子どもを育てることに関して、お金のことなど、先のことを考えるべきだと思う。
- ・参加してくださったお母さんをみて、自分もこういう風にあやしてもらったり、抱っこされたりしたのかなと思った。
- ・子育ては苦勞することも多いが、赤ちゃんと一緒に自分自身も成長させることができると聞き、私も子どもが欲しくなった。
- ・可愛いけど、いろいろのところに歩き回ったりするから、目が離せない。
- ・最初は赤ちゃんに喜んでももらえなかったらどうしよう、と不安だったが、赤ちゃんのほうから抱きついたり、笑ったりしてくれて、すごく嬉しかった。あちこち動いて、世話しない人には赤ちゃんは寄らなかったのも、おとなしくしていたら興味を持って来てくれたと思う。
- ・子どものことをわかるのは、とても難しい。
- ・今まで赤ちゃんにふれあったことが一度もなく、尋常じゃないくらい緊張した。赤ちゃんを見て、泣いている姿や遊んでいる姿が、おおげさだけど涙がでるくらい可愛かった。小さい手や足をみてすごく感動した。自分も小さい頃はあんなかんじだったと思ったら、成長ってすごいなと思った。
- ・将来、自分の子どもができたなら「親子ふれあい体験」に参加させたい。
- ・子どもの気持ちは思っているよりも感じとりにくく、ふれあうのはとても難しかった。体がやわらかく、どうしたらよいのかわからなくて怖いと思ってしまうことがあった。
- ・子どもが成長するにつれて親も成長しなければいけないことがわかった。
- ・乳幼児は言葉がしゃべれないので、あつかいにくくとても大変だと思った。赤ちゃんが泣いた時お母さんはあわてずにあやしていたので、すごいと思った。
- ・本当に幸せな時間だった。普段はあまり乳幼児と接する機会などないから、とてもいい体験ができた。子育ては大変だけど子どもの成長を直接感じることができ、それと同時に親もまた成長できるのだと学んだ。